



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

(代表電話) 03-3964-1141

(予約専用電話) 03-3964-4890

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

第112号 (平成25年11月号)

特集

パーキンソン病で「におい」がわからなくなる？

東京都健康長寿医療センター
神経内科 医長 仙石 錬平

はじめに

パーキンソン病は、手足のふるえや歩行が難しくなる病気として知られていますが、主な症状は「手足がふるえる（振戦といいます。）」「筋肉がこわばる（筋固縮といいます。）」「動きが遅くなる（^{かどう}寡動といいます。）」「歩行時のバランスがとりづらくなる（姿勢反射障害といいます。）」の4つです。ただし、これらの症状がすべての患者さんに認められるわけではありません。

近年、上記症状が出現する前から睡眠中に暴れるといった睡眠障害や「におい」がわからなくなる^{きゅうかくしょうがい}嗅覚障害、便秘症などが出現することが判明しました。

今回、パーキンソン病で認めるこれらの運動とは関連しない「非運動症状」についてご紹介いたします。

パーキンソン病の非運動症状

先ほど述べましたパーキンソン病で見られる4つの症状は、「運動」に関する症状なのでこれらをパーキンソン病の「運動症状」と呼びます。それに対して、睡眠障害や嗅覚障害、便秘症などを「非運動症状」と呼びます（図1）。

最近の研究により、運動症状が出現する

パーキンソン病の症状

運動症状

- ・手足がふるえる
- ・筋肉がこわばる
- ・動きが遅くなる
- ・体のバランスが悪くなる

「非」運動症状

- ・睡眠中に暴れる
- ・匂いがわからない
- ・便がでにくい
- ・脚がむずむずする
- ・無関心になる
などなど

図1

主な記事

- ・パーキンソン病で「におい」がわからなくなる？ P.1
- ・第1回健康長寿いきいき講座を開催しました P.3
- ・さわやかケア外来のご案内 P.4
- ・患者さまの声 P.6

以前から非運動症状が出現していることが判明しており、特に「睡眠中の暴れ」と「嗅覚障害」は極早期から認められる症状であることがわかりました。

パーキンソン病の嗅覚障害

ねずみなどの齧歯類等の動物にとって、生き抜くために必要な機能が「におい」の能力（嗅覚）です。そのため彼らの嗅覚は人間よりはるかに発達しています。

一方、われわれ人間では視覚、聴覚が発達しているため、嗅覚にはそれほど頼らなくても生きて行けます。嗅覚は、人間では加齢とともに機能が低下していきます。

欧米では「におい」の文化が現存していますが、日本では江戸時代が全盛で、その後衰退しています。

パーキンソン病では、この嗅覚障害が運動症状が出現する数年前から生じることや、「嗅球（においを司る解剖学的部位の一つ）」が病理学的に最初に障害される解剖学的部位の一つ（図2）であることが判明しています。さらには、今年、パーキンソン病で「におい」が重度に障害されている患者さんは認知症を合併しやすいとの報告がありました。

パーキンソン病における嗅覚障害はパーキンソン病を早期に発見しうる症状の一つなのかもしれません。

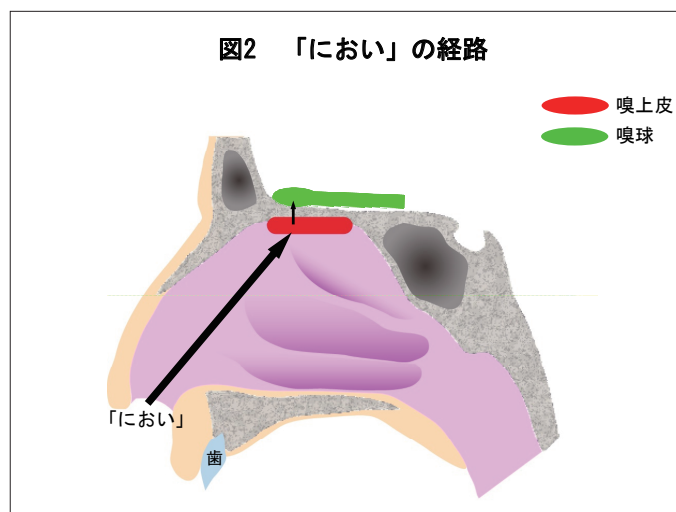


図2：「におい」は、鼻腔から鼻粘膜にある嗅上皮で感知され、その上にある嗅球へと伝達され、その後数個の経路に分岐し、認知される。

「におい」がわからなくなってきたら

『「におい」がわからない=パーキンソン病』というわけではありません。「におい」がわからなくなる原因の多くは、蓄膿症（慢性副鼻腔炎）やウィルス性炎症によるものです。

当院では耳鼻いんこう科と共同し、まず耳鼻いんこう科で検査をし、鼻に上記のような病気がなければ、鼻から一番近いところにある頭の病気を扱う神経内科外来を受診してください。



平成25年度 第1回健康長寿いきいき講座を開催しました

平成25年9月3日（火曜日）に、『画像でよく見える人間のからだ 最新放射線診断の威力』と題して、第1回健康長寿いきいき講座を開催しました。

当センターの井藤英喜センター長のご挨拶より始まり、小林秀副院長の司会で進められました。

はじめに、長谷部伸放射線診断科専門部長から「人体臓器の形態に迫る 最新CTの画像再構成法」と題してお話がありました。次に、徳丸阿耶放射線診断科部長より「あなたの認知症はどのタイプ？－認知症のタイプを知って、治せるものを治しましょう！」、最後に石井賢二神経画像研究チーム研究部長より「PETでわかるガンと認知症」と題した講演がありました。各講演後の質疑応答も活発に行われ、大変有意義な時間となりました。



さわやかケア外来のご案内

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 看護部

皮膚・排泄ケア認定看護師 **野島 陽子**

はじめに

当センターは、高齢の方々の特性に対応するための「高齢者いきいき外来」「骨粗鬆症外来」「物忘れ外来」などがあり、これに加えて、認定看護師と診療医師・看護師が協働活動を行っている「ケア外来」があります。

ケア外来は、「さわやかケア外来」、「ストーマ・スキンケア外来」、「フットケア外来」等があります。今回はこのケア外来の中で、「さわやかケア外来」について紹介させていただきます。

排尿問題の現状

現在、多くの方々が排尿問題について悩みを抱えていますが、実際に受診される患者様の数はその10%にも満たないと言われています。

その背景には下記に挙げる原因・要因があると思われます。

- ①もう年だから仕方ない…と自分自身が諦めている
- ②近くの診療所、医院などで、年なんだから仕方ないと言われた
- ③排尿についての悩みを話すなんて、恥ずかしいし情けない
- ④どの科を受診したらいいのか分からない

などが挙げられます。

この排尿問題は、ただ単に気持ちよく排尿できないという問題だけではなく、旅行に行かれない、友人と外出したくない、臭いが気になるなど人間関係や趣味など様々な面にも障害が生じて、身体だけでなく、心にも影響をきたします。この苦痛や苦悩を一人で背負わず、専門のスタッフにぜひ打ち明けていただきたいと思います。

さわやかケア外来とは？

「さわやかケア外来」は医師と外来看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師が協働して、失禁によるスキンケアの方法や、また頻尿、失禁などの問題解決のための相談・支援を主に行っている外来です。

さわやかケア外来が通常の外来と違うところや特徴について述べさせていただきます。

- ①プライバシーが確保された部屋でお話を伺いますので、周囲への気兼ねがなくお話をいただけます。
- ②おひとり様30分以上の診療時間を設けておりますので、ゆっくり落ち着いてお話を伺うことができ、更に、お待たせすることは先ずありません。
- ③症状・病変への対応（手術や投薬など）だけでなく、受診される皆様の声や思いを傾聴させていただきながら看護の視点でケアを実施し、生活場面でのアドバイスやケアの方法などを提案・支援しています。

ただし、必要時にはすぐに治療に移行できるようなシステムをとっておりますので安心して診療に来ていただけることと思います。

終わりに

先ずは少しの勇気をもって、当さわやかケア外来を受診していただきたいと思います。もう一人で悩まず、私達専門スタッフと一緒に問題を解決していきましょう。一人でも多くの方々の苦痛・苦悩が軽減されることを我々スタッフ一同望んでおります。先ずは、お気軽にご相談下さい。

相談方法・連絡先

予約センターで予約をお取りください

03-3964-4890（直通電話）



外来日

毎週火曜日午後1時半から4時半まで

受診までの流れ

初診時

担当医師による診察・問診

- ・尿検査・残尿測定検査を実施し、その後問診

看護師による問診・説明

- ・排尿日誌の記載方法などについての説明

*症状や病態によっては他科を受診していただくこともあります
(婦人科外来、皮膚科外来、泌尿器科外来など)

2回目以降

さわやかケア外来にて医師と認定看護師による診察・問診





患者さまからの声



受付に置いている外来医師配置表の文字が小さ過ぎて読めない。両面を使うなどして、もっと字を大きくして欲しい。

▶ 8月から外来医師配置表につきましては、これまでの片面印刷のほか、文字を大きくした両面印刷のものを置かせていただきました。

渋谷サロンについて丸テーブルが不安定である。安定感のあるテーブルにして欲しい。また、昼食時に職員が利用されて、患者や家族が座れない状況である。患者（お客様）優先にすべきである。

▶ ご指摘を受け、床面とテーブルを固定させていただきました。また、昼休み等での職員の利用は控えるように注意喚起をいたします。

入院手続きが旧施設の時と比べて大変面倒になり、時間が掛かるようになった。

▶ 入院に際しまして、事前に有料個室の希望確認を行い、入院当日には持参薬の確認等をさせていただいております。確認事項が増え、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

水飲み場を設置して欲しい。

▶ 1階では外来13番ブロック横にあるカップ式自動販売機にて、2階では中央のエレベーター横の給水器にて、それぞれ無料でお水を提供しておりますので、ご利用ください。

東京都健康長寿医療センターの外来受診

東京都健康長寿医療センターは、主に高齢者の方のために高度で専門的な医療を提供する病院です。

当センターの医療機能である高度専門医療、急性期医療を、一人でも多くの皆様にご利用していただけるように、地域の医療機関と連携し、機能分担を図り、医療の質を向上させるために紹介予約制を原則としております。

◆予約センター

予約専門電話 ▶ 03-3964-4890

または、病院1階の①番「新患・予約」窓口で予約をお取り下さい。

平日 ▶ 9時から17時まで

